17. ため池整備

17-1 記入上の留意点

(一)一般事儿	頁	Į	Į	耳	仔)	1	(
---------	---	---	---	---	---	--	---	---	---

チェック・選択の方法は該当する「マーク」に、「又はレ」を記入する。

「表 及び 」は,数値もしくは文字を記入する。

項目が不足する場合、表現しきれない場合、特記事項がある場合等は、適宜、備考欄を利用する。

該当する項目がない場合は、「該当無し」を記入する。(記入モレか否かを識別するため)

本資料は,農業用ため池を改修(堤高 H が 15m未満)する場合の標準的な作業項目で表示している。これにより難い場合,特記事項がある場合等においては,備考欄あるいは頁末に追加補完のこと。

(2)「総括表」に係る細目

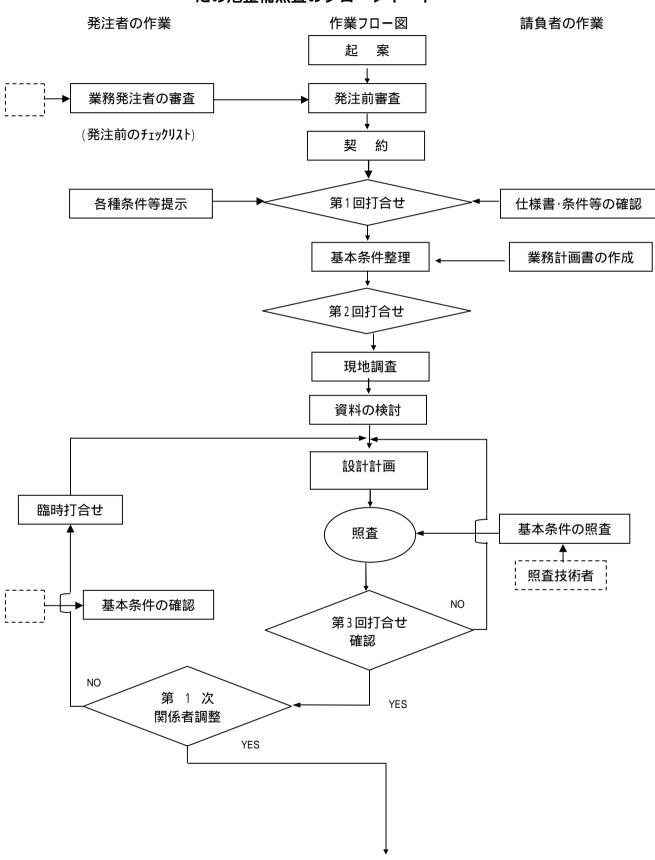
- ・改修計画項は、「現況施設」と「改修計画」の諸元を対比調で記入する。
- ・改修理由(細目)項は,該当する全ての項目に「 」,該当しない項目に「×」を記入する。
- ・現況施設に関る項目で,実測値が無い場合など不明な内容に対しては「」を記入する。

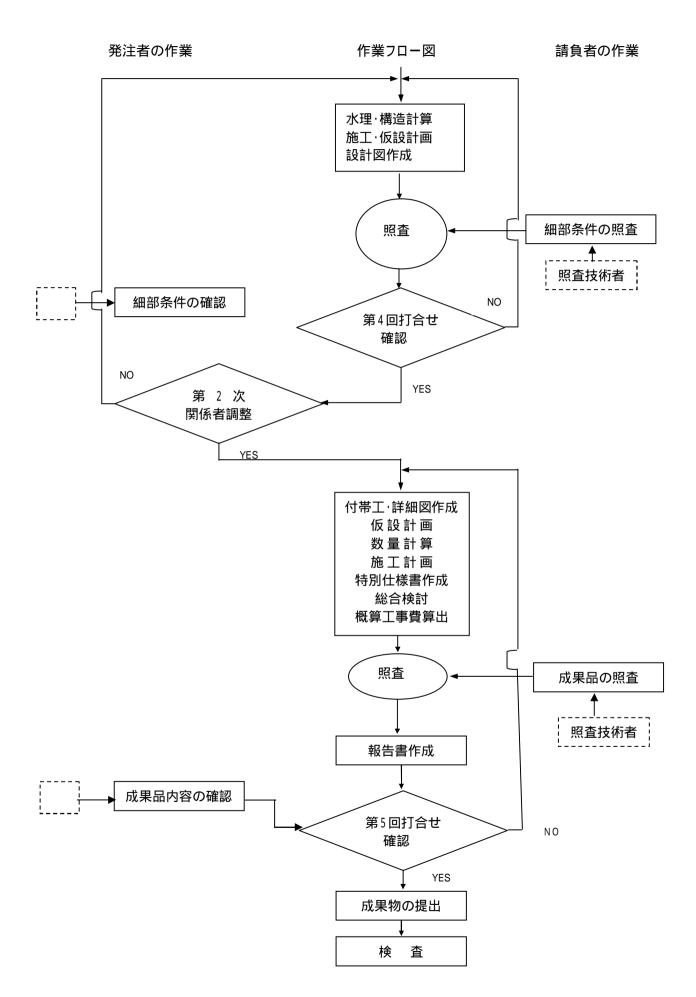
(3)「設計内容要点記載表」に係る細目

- 1)基本条件(記載表 1.1~1.5)
 - ・「設計目的・主旨等」の有無選択により,業務の内容を明確にするものである。
 - ・設計区分欄は標準的な項目で設定している。特記項目等がある場合は,適宜,備考欄あるいは内容欄の空白部を利用する。
 - ・選択項目等で が複数個ある場合は,該当する全ての項目に「」を記入する。例えば,(改修の対象となる施設項では, 堤体上流, 堤体 下流, 洪水吐, 取水口, 底樋, 緊急放流施設, 等々)
- 2)細部条件(記載表 2.1~2.5)
 - ・記載表は,ため池整備の標準的工種として, 堤体設計 洪水吐設計 取水施設の3工種及び構造部材設計で構成している。 この他,基礎工,仮設道路(地区外)等がある場合は,適宜,他の照査表を準用するか,内容に応じた照査項目を補完すること。
 - ・このうち構造部材設計表は,付帯工設計に際して共通する基本条件を明記している。施設毎に異なる場合は,備考欄等でその内容を記載する。
 - ・洪水吐設計・取水施設設計の部材応力及び配筋計画項では,代表的な断面・部材のみを表示している。構造規模あるいは部材応力が大きい場合などで,部材の内側・外側共に応力配筋を有する場合等においては,適宜,記載表を追加すること。
 - ・安定計算項において,現況堤体の安全率を計算しない場合は,「 」を記入する。(記入モレと識別する。)
 - ・安定・構造計算の工種及びケースは多大な量となるので、報告書の各工種結果一覧表を添付するなどにより対応すること。

17-2 照査のフローチャート

ため池整備照査のフローチャート





17 - 2 - 2(様式)

総括表

	ため	池の名称]形態						
		工種	区分		現況	計画					Ш
		堤体工	堤 長	m							Ш
_	改	ズドエ	堤高	"							Ш
		洪水吐工	箇所数	箇所							
	修		設計洪水量								決 水 时
	٠		他設工 # エ	"							ᆘᄁ
40	計	浚 ٪	業 工	m3							Ш
般	_		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<u> </u>							41
	画	集水貯力		ha m2							H
		貯 7 受益		m3							1
		又血	単行貝 算定堤長(m)	ha	実測値	計算値	許容値	判定	備	考	41
改	堤	漏水量		L 当り(ポ/sec)	天炽胆	口弁胆	可管他	力化	闸	75	取
LX	处	口出	リ漏水率(%	. ,							1 7h
	体	断	面変形率(07 Ц) %)							I 小 設 備
修	11.			上流側							備
	エ	足体女:	全率(Fs)	下流側							
		堤体のご	收修理由	漏水	クラック	断面变形	浸潤線	安定性	そ σ.) 他	泫
		(該当(の有無)								
理	洪	:#zk	放流能力(n	3/600)	現況	計画	判定	備	考		ЦΙ
	水	がいた	リメハル日ピノコ(ハ	13/360)							
由	吐)改修理由	断面不足	破損	漏水	水理上	一体施工	そ σ.) 他	頀
	工		の有無)	L	<u> </u>	<u>L</u>	<u> </u>				I
	取水		施設の改修		破損	漏水	設備老朽	一体施工	そ σ.) 他	
	施設	(該当の有無)							

	雨	観測所				計画	基準	確率	日雨量	時間雨量	降雨波形	継続時間
	雨量	既往最大	日雨量	時間	雨量	雨量[通年]	1/200				
	里	雨量(mm)				(mı	m)	1/100				
		設計洪	水流量									
	洪	X	分	Ŧ	林	水	田	畑	市街地	池面		計·平均
洪	水	流域面										
水	量		持間係数(C)									
吐	計算	ピーク流出										
	算	洪水到達				<u>分</u>			内有効降雨			mm/時間
		ピーク洪水流				貯7	K面積	責∶流域面₹	責(1:)		貯留効果	
		貯留深(m)						減勢工設計洪	水量(m3/sec)			
		上設計洪水量										
		性の型式				減	勢工	の型式				
取		型式	斜	樋		口径(mm)	第1孔	第2孔	第3孔	第4孔	
水	計画法	共水量(m3/s)				,	()					
設	底	樋				·構造						
備	緊急	急放流施設			口径	·構造						
	浚渫	土量(m3)						面積(m2)				
浚渫工	1211					平均		深さ(m)				
渫	Т	改良材				X	• •	改良目標強	度qu(N/mm2)			
エ	工 法	種別				仮設道						
		混合機械				道路	以外					
護岸			[長(m)					改修				
I		平均高	うさ(m)					工 法				

	改值	多型式			選定理由				
		区分	記号	単 位	数値	区分	記号	単 位	数値
堤		設計洪水位	H.W.L	標高		堤 頂 幅	В	m	
	堤	常時満水位	F.W.L	"		前法勾配	N1	1:	
体	体	最低取水位 (土砂吐敷高)	L.W.L	"		遮水ゾーン 前面勾配	N2	"	
改		基礎地盤高	B.G.L	"		遮水ゾーン	nз	"	
	エ	堤 高	Н	m		裏面勾配	113	"	
修		貯水深	H1	"		裏法勾配	N 4	"	
	寸	最高水深	H ₂	"		前法小段幅	Ь	m	
エ		越流水深	h 1	"		遮水ゾーン	d 1	,,	
	法	余裕高	h2	"		天端幅	uı	,,	
		風波高	h w	"		トレンチ深さ	d4	"	

		地層区分	土質分類	自然含水比	細粒分含有率		即和里重	内部摩擦用	柏看刀	備	考
堤		心自己力	工具刀泵	Wn	75 µ 以下	t(kN/m3)	sat(kN/m3)	,'(度)	C,C'(kN/m2)	l/H3	7
体	丘										
+ 1	土質諸元										
藍	諸										
≠	元										
堤体土質諸元											
			±1.66	<u> </u>	*****			/++			
及		応力表示	計算	ケース	設計震度	区分	計画	備	考		
び	#										
安	츳										
定	ᄮ										
<u>~</u>	計										
监	算										
异	結										
び安定計算結果	安定計算結果										
果	-1										

17-4 照 查 表

工種

〔1〕基本条件の照査表

業務名		
発注者名	請負者名	
確認の日付	照査の日付	
確認担当者氏名・印	照查技術者 氏名·印	

				照		查	確	認		設計内容
NO	項目	主 な 内 容	提示資料	該当		- 隺認	該当	確認	備考	(要点)
				対象	₹ [™]	住 記	対 象	11性 記念		記載表
1	設計の 目的・	(1)目的、主旨を理解しているか。	特別仕様 書							
	主旨等	(2)設計の範囲、数量及び主な作業項目とその精度、工程等について把握しているか。	業務計画 書							
2	貸与資 料の確	(1)貸与資料の不足事項,追加事項はあるか。	貸与資料							
	認	(2)事業所で統一された基準要領があるか。								
3	設計基本条件	(1)ため池整備一般 1)ため池改修要因および整備の内容を把握してい るか。	協 議 資 料, 特別仕様 書							
		2)対象の施設に対し,水理的・構造的な性状を把握 し,整備の方針を策定しているか。	"							
		3)ため池の流域および用水受益地の状況を把握しているか。	<i>II</i>							
		4) 堤体および付帯施設の整備の方針は , 立地条件 , 利水状況等からみて適切か。	"							
		5)改修する堤体軸及び洪水吐 取水施設等の配置は適切か。(現況堤に対し,洪水吐・取水施設・下流水路等の相互の関連から検討しているか)	協議資料							
		6)緊急放流施設の要否を確認しているか。	<i>''</i>						•	
		(2)適用すべき基準について確認しているか。	<i>''</i>							
		(3)対外協議事項とその内容について把握しているか。	設計打合 記録							

基 本 条 件 の 照 査 表

				照	查	確	認		設計内容
NO	項目	主 な 内 容	提示資料	該当対象	確認	該 当 対 象	確認	備考	(要点) 記載表
4	現地調 査の結 果	(1)対象地域の写真撮影を行っているか。	現地調査 資料						
	<i>3</i> 1¢	(2)測量図に下記事項が明記されているか。1)堤体の標高、洪水吐,取水施設,その他構造物の位置と標高2)下流引継水路の状況(排水路,用水路等)	現地調査 資料 添付図面						
		(3)設置予定地付近の土地利用状況(地目)は把握しているか。	"						
		(4)設置予定用地 (工事用道路用地を含む)付近に支障となる障害物の有無について把握しているか。	<i>II</i>						
		(5) 土取り場,建設発生土受入地予定地の状況を把握しているか。	"						
		(6)設置予定地周辺の環境状況 (史跡・埋蔵文化財・生態 系保全・景観等の配慮)を把握しているか。							
5	設計計画	(1)堤体改修計画 1)計画基礎地盤は適切か。(地層構成,透水度)	協議図面協議記録						
		2)改修理由及び土質諸元に即した改修工法か	協議記録 協議資料						
		3)築堤材料は,粒径加積曲線,せん断強度,透水 度等から適性範囲にあるか。	<i>II</i>						
		4)地質調査・土質調査等の結果により , 堤体の諸 数値および基本断面を決定しているか。	"						

					照	3	查	確	認		設計内容
NO	項	目	主 な 内 容	提示資料	該対		確認	該 当 対 象	確認	備考	(要点) 記載表
			5)改修計画における下記事項を把握しているか。 計画 FWL は現況水位もしくはそれ以下の高さか。 改修計画平面・縦横断図 基準に示される堤体標準断面の適用は妥当か。 (補正すべき要素はないか) 堤体安定計算の要否もしくは検討ケースは適切か。	協議記録協議資料							
			(2)洪水吐の設計 1)洪水吐の位置・形式は,地形・地質・下流引継水路等 の条件を満足しているか。	"							
			2)平面・縦断線形は 水理的に円滑かつ良好な地山上か。	<i>''</i>							
			3)設計洪水量又は計画降雨規模の超過確率年を確認しているか。(A・B・C項)	"							
			(3)取水施設 1)取水施設の位置 ,形式・取水量について確認している か。	<i>II</i>							
			2)引継位置および水理諸元について確認しているか。	<i>II</i>							
			(4)施工計画 1)施工・仮設設計の方針は ,基本条件・制約条件を確認 した上で立案しているか。								
			2)場内道路 ,場外道路の計画は ,改修工事と整合が取れているか。(建設位置 ,工事順序・スケジュール等)								
			3)本工事に係る,用地関係,補償施設,補強施設等の 有無を確認しているか,あるいはその構想は適正か。								
			(5)環境との調和及び景観に配慮した設計となっている。								

エを種

〔2〕細部条件の照査表

	業務名		
発注者名		請負者名	
	確認の日付	照査の日付	
	確認担当者 氏名・印	照査技術者 氏名・印	

				照	查	:	Ŧ	確	認				設計内容
NO	項目	主 な 内 容	提示資料	当象	確	認	該 対	当 象	確	認	備考	ž į	(要点) 記載表
1	一般事項	(1)堤体および構造物設計に適用する設計基準・指針・ 標準設計等を確認 (明記) しているか。											
		(2)使用する電算ソフトはチェック済か。(テストランもしくは実積による検証など)											
		(3)構造設計(細目)に対しては,後述の実施設計照 査要領の照査条件の調査を満足しているか。											
		(4)施工後の維持管理が考慮されているか。											
2	水理·水文 計算	(1)流域面積は適正か。(間接流域がある場合の流入量評価,貯留効果の適否など)											
		(2)貯水池および堤体・付構造物整備の基となる 水理・水文に係る計算式および各諸元の数値は適正 か。											
		1)設計洪水量決定に使用する基準およびデーター は適切か。(A・B・Cの各項の流量)											
		2)貯留効果の判定は適正か。											
		3)洪水吐と減勢工の設計流量の使い分け。											
		(3)改修による利水諸元の変化を確認しているか。(貯水量・池水位の変化等の観点から)											
3	堤体設計	(1)堤体標準断面の決定経過は明確かつ適正か。											
		(2)計画基礎地盤は適正か。											
		(3)土質定数の決定根拠を明確にしているか。											

	1			1				_	·
				照	查	確	認		設計内容
NO	項目	主 な 内 容	提示資料	該当		該当		備考	(要点)
		_ 0.13 1	3/2/3/3/11	対象	確認	該 当 対 象	確認		記載表
-				X) SK		X) SK			HUFALK
		(4)堤体の安定計算式は適正か。							
		(1)**ZFT***>XXCH1\$#\$VIXXQIL73 8							
		1)設計仕様書に記載されている検討の処理がなさ							
		· ·							
		れているか。							
		2)土質諸元の決定根拠は明確かつ適切か。							
		の空気は無け、豚まにするたら四夜にしてい							
		3)安定計算結果は一覧表にするなど明確にしてい							
		るか。							
		4)環境及び景観対策は適切か。							
		,							
4		(1)基本設計段階に対し大きな変更点はないか。(建設							
	設計	位置,規模・タイプ,平面・縦断線形等)							
		(a) \\							
		(2)洪水吐の水路構成は適切か。							
		(3)減勢工の形式は隣接地形および下流水路状況と整							
		合が取れているか。							
		(4)洪水吐規模・越流水深決定の根拠は明確かつ適正							
		か。							
5	取水設備	(1)基本設計に対し大きな変更点はないか。(建設位							
'	松小心又們								
		置,タイプ,取水位等)							
		(2)取水孔の口径・数・位置は確認がとれているか。(利							
		水慣行等)							
		,							
		(3)底樋管の改修は , 現在の立地環境および構造基準							
		等からみて適正か。(改修軸 , 規模 , 工法など)							
	1-11-11	,							
6	設計条件	(1)設計条件は適切か。							
		1)材料の単位体積重量							
L		·		1	1	<u> </u>	<u> </u>	1	1

				照	查	確	認			設計内容
NO	項目	主 な 内 容	提示資料	該 当 対 象		該 当 対 象	確認	備	考	(要点) 記載表
		2)材料の種類と許容応力度。(低減率 割増し率 等)								
		3)上載荷重の種類と適用施設の区分。								
		4)設計震度								
		5)土質定数及び土圧係数								
		6)地下水位の設定								
		(2)安定計算式の要否判断及び安定条件判定基準は 適正か。								
		(3)部材設計 1)鉄筋かぶりと構造部材は適正か。								
		2)各部材が応力的に最も不利となる検討ケースが 設定されているか。								
		(4)電算ソフトを使用した場合 , インプット・アウト プットデータは適正か。 また検討結果は , 一覧表として整理するなど適 正判断を明瞭にしているか。								
7	設計図作成	(1)規格は特別仕様書と整合しているか。								
		(2) 計画一般図に必要な項目が記載されているか。 (水位、地質条件等)								
		(3) 使用材料・規格は計算書と一致しているか。								
		(4) 構造詳細図は適用基準及び打合せ事項と整合して いるか								

細部条件の照査表

	Ī						T _		4			·
				既	₹	查	6	確	認			設計内容
NO	項目	主 な 内 容	提示資料	該	4		該	当		備	考	(要点)
		— — — — — — — — — —	3/2/3/5/11	対象	<u>-</u>	確認	該対	_ 会	確言	3	3	記載表
				XIJ ≷	氡		X) :	家				市し単次人と
		(5)計算結果に基づいた適切な配筋がされているか。										
		鉄筋の継手位置は構造・施工の両面から適正か。										
		また ,鉄筋の段落しあるいは継手が集中する場合の										
		処理は適切か。										
		发9至18处型约17°。										
		(6) 構造・寸法線の表示・線の種類は的確に使い分け										
		されているか。(構造線と寸法線・現況線 , 指定										
		仮設と任意仮設の識別等)										
		/=\#±±¬±•±;										
		(7)特記事項はないか,ある場合は記載されているか										
					_							
					_							
							•			•		

工種	
----	--

〔3〕成果品の照査表

	業務名		
発注者名		請負者名	
	確認の日付	照査の日付	
	確認担当者氏名・印	照査技術者 氏名・印	

<u> 工種:ため池整備</u>

				Ħ	召	查		確	認	<u>" </u>			設計内容
NO	項目	主 な 内 容	提示資料	該対	当	確 :	認	該 当 対 象	工中	認	備	考	(要点) 記載表
1	未確認事 項の確認	1)前回の照査以降での変更事項あるいは未解決事項 はないか。											
2	仮設計画	(1)工事用道路 1)路線の位置・線形は適正か。	報告書										
		2)工事用車両の通行が可能な道路規模であるか。											
		(2)土丁流用計画は適正か 1)池敷き・土取り場・建設発生土受入地および仮設道 路構築間での土丁流用は適正か。 2)泥土処理,地盤改良の有無,ある場合の処理は適切 か。											
3	数量計算	(1)数量一般 1)数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合して いるか。(有効数値、位取り、単位、区分等)											
		2)数量区分は施工工程・施工機械等と整合してい るか。											
		3)数量計算に用いた寸法は、図面と一致しているか。											
		4)数量取りまとめは、種類毎、材料毎に打合わせ に合わせてまとまっているか。											
		(2)土工計算 1)施工区分毎に土工図が作成されているか。											
		2)土工流用計画の下に , 数量が取りまとめられて いるか。											
4	施工計画	(1)施工方法は適正か。	報告書										
		(2)工事規模・現場状況に見合った施工機種の組み合わせか。											

<u> 工種:ため池整備</u>

				Я	誤	查		確		認			設計内容
NO	項目	主 な 内 容	提示資料	該		確言	刃	該当	á l	確 認	備	考	(要点)
				対	象	ире п	NC)	対象	₹ "	1年 印	,		記載表
		(3)工程計画は適正か。											
		(4)経済性、安全性が配慮されているか。											
		(5)工事中の環境面(騒音、汚染対策等)に配慮がなされているか。											
		(6)施工ヤード・施工スペースを確保しているか。											
		(7)仮設計画(道路、排水)は妥当か。											
5	特別仕様 書	(1)工事特別仕様書の内容は適正か。											
6	概算工事 費	(1)適用基準及び打合せ事項と整合しているか。(区 分、歩掛、単価、積算方法等)											
		(2)積算の要領を明記しているか。											
7	報告書	(1)指定条件及び打合せ事項と整合しているか。(製本 内容、まとめ方、図面整理等)											
		(2)報告書の構成は、設計業務報告書標準様式(案)に 準拠しているか。											
		(3)計算に使用した計算式、数値及び引用された文献等の出典及び根拠は明確になっているか。											
		(4)計算過程が理解しやすいようになっているか。											
		(5)電算での処理データは整理されているか。 また,本文と区別されているか。											
		(6)引継事項あるいは今後の課題はないか。もしくは整理されているか。											
8	コスト縮 減対策	(1)施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果が整理されているか。											

17-5 設計内容(要点)記載表

設計内容(要点)記載表 1.1(設計の目的・主旨)

	討 項 目		内		報告書	備		照査
内 容	詳細		, ,		記載頁	I/HI	75	
設計区分		概略設計	基本設計	□ 実施設計				
作業項目	現地調査	□ 有 無						
準備作業	資料の検討	□ 有 無						
	改修要因の検討と方針	□ 有 無						
設計基本計画	基本計画	□ 有 無						
	環境対策	□ 有 無						
	堤体断面の設計	□ 有 無						
堤体の設計	堤体の安定計算	□ 有 無						
*************	浸透水に対する検討	□ 有 無						
基礎処理設計	工法の検討	有 □無						
_____\	設計洪水量の決定	□ 有 無						
洪水吐設計	タイプ・路線の検討	□ 有 無						
	構造設計	□ 有 無						
⊞⊓⊸V≐ЛÆ∕D≐Л	タイプ・位置の検討 水理計算	□ 有 無						+
取水設備の設 計	構造設計	<u>□□ 有 無</u> 						_
П	緊急放流施設							-
施工計画	系态/JX/II./IBIX	□ 有 無						_
NG THIM	計画一般図	有 無						_
	堤体標準断面図	□ 有 無						+
	" 平面図・縦断図	□ 有 無 □ 有 無						
÷л÷⊥∞ин d÷	基礎処理工	有 □無						
設計図作成	洪水吐工	□ 有 無						
	取水施設工	□有無						
	附帯工	□ 有 無						
	その他	□ 有 無						
	堤体工	□ 有 無						
数量計算	基礎処理工	有 □無						
XX = 11 71	洪水吐工	□ 有 無						
	取水施設工	□ 有 無						
特別仕様書作品		有 □無						
概算工事費積額		有 □無						
点検照査とり		有 無						
本段階での契約	約変更の有無	有 無						

設計内容(要点)記載表 1.2(設計基本条件 1/2)

検	討	項 目	内容	出典根拠	報告書	/# +>	照査
内 容	Ė	羊 細	PJ 台	山兴低观	記載頁	備考	
	適	独自基準の有無	□ 有 無				
	用する	堤 体	□土改指針「ため池整備」(H18.2) □自治体等独自の指針, その他()				
一般	る基準	構造・部材設計	□土改指針「ため池整備」(H18.2),□土改基準「ダム」(H15.4), 土改基準「水路工」(H13.2),□独自指針「ため池」 その他()				
	関連	事業の有無	有 □ 無 /事業名等()				
	水利	権以外の権利有無	有 □ 無 / 権利名()				
	図面		有 □ 無 / 図面の縮尺 S=1 / 000000				
	有無	・縮尺 用水・排水	有 □ 無 / 図面の縮尺 S=1/000000				
	改修	の要否	□ 要 否(否の場合は以下空白)				
	改修	の要因	漏水,□堤体の断面不足・変状,□付帯工老朽・機能不備等、□安全施設改善等,□護岸工破損,□利水機能回復,その他()				
堤 体 改 修	改修	の対象となる施設	□堤体上流,□堤体下流,□洪水吐,□取水口,□底樋, □緊急放流施設, 池敷き整備,□浚渫, その他()				
		・土質調査資料の と設計対応	□ 既存資料, 近傍資料,□ 標準値使用, 今回調査 (その他:	地質調査 報告書			
		用土の土質調査資 有無と設計対応	既存資料, 近傍資料, □ 標準値使用, 今回調査 (その他:				
	改修	の要否	□ 要 否(否の場合は以下空白)				
	計画	取水量	Qmax = m³/s				
取水施設	現況	施設の情報	□設置位置, 構造 , 設置標高				
	改修	施設の位置; ヶ所					
	現況	底樋の情報	□設置位置 , 構造 , 設置標高 (上 , 下流敷高) (不明の場合の対応 :)				

設計内容(要点)記載表 1.2(設計基本条件 2/2)

	討 項 目	内容	出典根拠	報告書	備考	照査
内 容	詳細	r,	H JE IKIJE	記載頁	1佣 15	<u>च</u>
	改修の要否	□ 要 否(否の場合は以下空白)				
洪水吐	降雨データの有無 データ管理者・観測所名	有 □ 無 (データ管理者: 観測所名:)				
	現況施設の情報	設置位置 , 構造 , 設置標高				
	施設の改修位置(方針)	現況位置 , 位置変更 , □その他 (新設)				
	設計手法	□許容応力度法 , その他 ()	標準設計			
構造 設計	鉄筋コンクリートコンクリート強度	□ ck=21 N/mm2, 24 N/mm2, その他()	"			
	の仕様鉄筋種別	□SD295, SD345, その他()	"			
	耐震設計の対象施設	□堤体 , 洪水吐 , 取水施設 , その他 ()				
耐震設計条件	解析手法	□震度法, その他()				
	特記事項の有無	有, □無 (有の内容:)				
	計画の要否	□ 要 否(以下空白)				
	基本条件	有(施工期間;□月~翌年□月), □ 指定なし				
 施工計画	種別	現道 , 局部拡幅・改良 , 新設仮道 , その他 (敷地内仮道)				
ル エ 前 岡	工事用 道路 今回整備の内容	全幅員; m , 概略延長; m				
	同,橋梁の有無	有 □ 無				
	その他					
	ため池管理者	□ 有 無	打合せ資料			
対外協議の	用地所有者	□ 有 無	"			
有無と内容	道路管理者	有 □ 無				
	その他					
特記事項の	特記事項の有無	有無				
有無と要旨	有の場合の要旨	要旨:				

設計内容(要点)記載表 1.3(貸与資料の確認)

	討 項 目	内容	出典根拠	報告書記	備考	照査
内 容	詳細			載頁	E EM1	****
既存設計報告	事業計画書等	有 □ 無 有 □ 無				
書	基本設計報告書	有				
		有 無, 🗆 今回実測				
	貯水池	□平面図(地形図) □深浅測量 □縦断図, □横断図, その他()				
測 量 資 料 の 有無及び内容	土取り場	有 □ 無 平面図(地形図), 縦断図, 横断図, 用地図, その他()				
H.M.ZOFIJI	仮設道路	□ 有 □ 無 □平面図(地形図),□縦断図,□横断図, 用地図, その他()				
	その他	有 口無				
	貯水池・堤体	□ 有 無 地表踏査,□ ボーリング・標準貫入,現場透水試験 ,□ その他の孔内試験,□物理試験 ,□力学試験, その他()				
地質調査資料の 有無及び内容	土取り場	□ 有 無				
	仮設道路	有 □ 無 ボーリング・標準貫入 , 物理試験 , 力学試験 , CBR 試験 , その他 ()				
	その他	有 □ 無 / 調査の内容()				
気象・水文	気象資料	□ 有 無				
~~~ ~~	水文資料	□ 有 無				
	周辺関連事業資料	□ 有 無				
1~(()1111(())首は	事業所独自の設計資料	□ 有 無				
	用水受益者関係資料	有 □ 無				
	環境関係資料	有 □ 無				
追加資料 の要請	要請の有無及び内容	□ 有 無				

## 設計内容(要点)記載表 1.4(現地調査結果等)

	討 項   目     詳   細			内	容	出典根拠	報告書 記載頁	備考	照査
内容							心戦兵		
	貯水池周辺	□ 有	無						
写真撮影	土取り場	□有	□無						
	建設発生土受入地	□ 有	□無						
	仮設道路	□有	□無						
	測量図に , 堤防の標高 , 附帯構造の位置と標高	☐ Yes	No						
現 地 状 況	同 ,基準点及び水準点の 位置と標高	☐ Yes	No						
の 把 握 (貯水池)	障害物の有無	有	□無						
( או אויני (	その他 ,貯水池周辺以外	有	□無						
	道路拡幅等の計画	有	□無						
	砂防指定区域	有	□ 無						
周辺の環境況 の把握	保安林指定区域	有	□ 無						
	遺跡埋蔵文化財	□有	無						
	景観保護条約等	有	□無						
	借地のできない土地	有	□無						
施工条件									
						J	1		

## 設計内容(要点)記載表 1.5(設計計画 1/2)

.,,	討 項 目	内容	出典根拠	報告書	備考	照査
内 容	詳細			記載頁	備 考 	五元
	判定項目	判定基準 判定 判定 (該当項目に 印) 判定 判定要旨				
		満水位において堤長 100m当たり 60 /min 以上				
	堤体からの漏水	貯水能力が低下し、利水上に支障				
		漏水量変化が 10% / ヶ月以上増加				
	堤体のクラック及び変 形	クラックの有無,パイピングの有 無,断面変形 5 %以上				
改修要否	浸潤線の位置	浸潤線の位置				
	洪水吐の老朽化 ,又は断面 不足	破損の状況,現況能力及び必要能力				
	堤体の断面不足	余裕高又は付加高さの不足,断面不 足による堤体不安定				
	取水施設の老朽化等に よる漏水	斜樋・底樋の破損による漏水,取水 設備の操作機能不備				
	安全管理施設の老朽化 または不備	安全管理上支障をきたしている				
	護岸工の破損	堤体及び周辺農地等への影響がある				
	堆砂	貯水機能及び取水機能に支障がある				
	改修の要否	□要否				
	堤体改修型式	均一型 , 傾斜遮水ゾーン型 , 中心遮水ゾーン型 , 遮水シートアスファルト舗装 , 堤体グラウト , 掘込式 , その他 ( )	` ,			
	指針等が示す標準断面 の適用	□ 適   否				
堤体改修	" 安定計算の要否	□ 要   否				
	基礎処理・地盤改良	要 □ 否				
	仮設道路(場外)の検討	要 □ 否				
	仮排水路の検討	要 □ 否				

## 設計内容(要点)記載表 1.5(設計計画 1/2)

	討 項   目     詳   細	内容	出典根拠	報告書 記載頁	備考	照査
	ため池の主要諸元	堤高 m ,堤長 m,有効貯水量 m³				
	" 主要水位	HWL m , FWL m,LWL m				
	環境対策	□ 要   否				
	改修の要否	□ 要   否				
	計画洪水量	Q 洪水 =m³/s、 , Q 減勢 = m³/s,				
洪水吐改修	洪水吐の型式	水路流入型,□越流堰型, 側水路型, その他( )				
	減勢工の型式	跳水式減勢工( 副ダム型, USBR 型静水池,□USBR 型静水池,) 衝撃型減勢工,落差工型減勢工( 強制跳水型, インパクトプロック型, スロットグレーチング型), その他( )				
	改修の要否	□ 要 否				
	計画取水量	Qmax =m³/s,				
取水施設改修	取水施設の形式	□斜樋, 取水塔, 取水トンネル, 底樋, その他( )				
	″ の位置/ヶ所	□現況位置 , 位置変更 / □ ヶ所				
	底樋の水理断面 , 構造	水理断面:       , 構造:				
	対象となる施設	□堤体 , 余水吐 , 取水設備 , 底樋 , その他 ( )				
	設定レベルの使い分け	有, 無				
	地盤の種別	□適, 否, 種				
耐震設計	補正係数	地域別補正係数;k=,地盤別補正係数;k=, 重要度別補正係数;k=,固有周期別補正係数;k=				
	水平震度	K _h =   x   x   x   0.2 =				

## 設計内容(要点)記載表 2.1(堤体設計 1/2)

	討	項 目					内		容				出典根拠	報告書	/±	考	照査
内 容		詳	細				ניו		<u> </u>				шжихи	記載頁	備	<b>与</b>	
堤体改修の要	否			□要	ī	雪(琲	見況諸元	のみ記載	する)								
前回照査との	变更有	有無(主要事	項のみ)	有	<b>□</b> \$	<b>#</b>											
貯水池諸元				現	況	盲	十 画										
		型式															
		堤高	m														
		堤長	m														
	貯	堤体積	千 m3														
	水池	貯水量	千 m3														
	/6	貯水深	m														
		最高水深	m														
		余裕高	m														
		天端幅	m														
	堤	法勾配	上流														
	体	II	下流														
	断面	法面保護															
	山山	"	下流														
	1.	満水位															
	水	洪水位															
	位	堤頂標高	EL m														
		土質系		分類	含7	KŁŁ	湿潤重	飽和重	内部摩	粘着力	左記の決定権	艮拠					
				737.00		,	量	量	擦角		標準 既存						
	用土	区分					kN/m³	$kN / m^3$	0	kN/m²		查					
	IΒ																
	旧 堤 体																
堤体土の	体																
設計定数		 礎地盤															
	至	WE'E HE															
	改																
	修																
	修堤体																
	体																

設計内容(要点)記載表 2.1(堤体設計 2/2)

	討	項 詳	目 細				内	容				出典根拠	報告書記載項	備	考	照査
				応 力	記	計震度	斜面区分	計算結果 (計 画)	備	考						
		完成	直後													
堤体安定計算	検討	常時	満水位													
結果	ケース	設計	洪水位													
	水位急降下															
				追記	)現況	,堤体の安	定計算を行	なった場合に	は「備考	続欄」に	記載する。					
性気事項の																
特記事項の 有無と要旨	特記	事項の	有無	□有	<u></u>	#										
13/11/2/21	有の	場合の弱	医旨	要旨:												
適用設計基 準等				□土地改	<b>文良事業</b>	設計指針	「ため池整備」	農林水産省	農村振興	具局整備	部設計課 H18.2					
<del>- 5</del>				□土地改	文良事業	計画設計	基準・設計「タ	ブム」 農村	木水産省	農村振り	興局 H15.4					
				□土地改	女良事業	計画設計	基準・設計「フ	〈路工」 農村	木水産省	農村振り	興局 H13.2					
				その化	<u>t</u> (			)								

## 設計内容(要点)記載表 2.3(洪水吐設計 1/3)

検	討 項	目 /m	内	容			出典根拠	報告書記載頁	備	考	照査
内 容	詳	細						記製具			l
洪水吐改修(	の要否		□要  否								
前回照査との	の変更有(主要	な事項のみ)	有  □無								
	観測所名										
雨	既往最大同	雨量	mm/hr								
	計画基準隊	雨量 1/200	mm/hr								
	"	1 / 100	mm/hr								
	\-\   \\ \-\ \-\ \-		山林 水田 畑 市	市街地 池	堤体	計・平均					
	流域面積流域区分流	ha 女山 <i>泛</i> 粉									
	洪水到達明	寺間 	min								
	同時間継約	^{売降雨強度}	mm / hr								
	同上流出量	量 1/200	$Qmax =   m^3.$	³/sec							
		1 / 100	$Q100 =   m^3.$	³/sec							
	貯水面積	:流域面積									
는지 는 I NH -L/ 트	┃ ₃┃貯留効果		有 許容放流量 = [	m³/sec							
設計洪水量			無								
	設計洪水量	量 :洪水吐	Q 洪水 = m ³	n³/sec							
	"	:減勢工	Q 減勢 =	n³/sec							
		流入部	水路流入式,□越流堰:	夏式 , 側水路式							
		派八部	その他(	)							
	洪水吐の	導流部	□シュート式 , 阻壁式	式,  階段式,							
	型式	13 WIDEL	その他 ( )								
		減勢部	□跳水式 ( 型), その他 (	落差工式, 衝擊 )	隆型						
L		1					1		1		

## 設計内容(要点)記載表 2.3(洪水吐設計 2/3)

検	討	項	目				内		容				出典根拠	報告書	備	<b>≠</b> ×	照査
内 容		詳	細				ry		Π'				山光似地	記載頁	湘	<b>4</b> 5	
構造計算条	荷	重の項目	・組み合わせ	1	条件ので 有(適正 無(検討	に明記る	されて! は標準的	Nるか。 内なもの	Yes か。 「	s, ⊐Yes,	)	)					
件	偏	圧荷重の	有無	1	<b>有</b> , □	無	(有の	場合の多	定計算	<u> </u>	有,	無)					
		造部材設 的か	計条件は標		準的 記有り	( その根	!拠及び	内容は道			適,	否)					
					流入	部		導 流			勢音						
				側壁	底版橋	底版中	側壁	底版端	底版中	側壁	底版端	底版中					
		lずモ−メント	kN-m														
	軸		kΝ														
		ん断力	kΝ														
		筋かぶり	mm														
*		効部材厚	mm														
部材応力及び	配		(近似式) D	D	D	D	D	D	D	D	D	D					
主配筋計画	筋	<i>B</i> J		@	@	0	0		0	@	@	@					
	計画	配力筋	D	D @	D @	D @	D @	D @	D @	D @	D @	D @					
	応	コンクリート曲		8			•				•	8					
	力照	鉄筋引張															
	查	せん断心															
	*	略で: : 報告i 一貼:	鉄筋の場合はきる。 書の本編で , 付により上表 は , 他の構造	上表相 は省略	当の内容 できる。	宮が一覧	表でま	とめられ									

### 設計内容(要点)記載表 2.3(洪水吐設計 3/3)

村	食 討 項 目			内容		報告書	備考	照査
内 容	詳細	標準値等	採用値	採用理由	出典根拠	記載頁	III 3	思且
<del>                                      </del>	材料の単位体積重量 無筋コンクリート kN/m³			無 □周辺地下水位 1/2 壁高その他				
基礎地盤	堤体基礎地盤構成	地盤地質名						
基礎地盤   の条件	" 床付面の地盤	地盤地質名	;					
	〃 〃 の透水係数	k=	× 10	cm/sec				

## 設計内容(要点)記載表 2.4(取水施設設計1/2)

	検	討	項	目	内容	出典根拠	報告書	備	考	照査
内	容	計	ŧ	細	r; <del></del>	H <del>A</del> IKIR	調源	湘	<del>5</del>	д
取水工	改修の	要否			□要    否					
前回審	査との	)変更有	無(主	要事項のみ)	有 無					
設計諸	元	計画取	水量		$Qmax = m^3/s$					
	I	取水施	設の型:	式 式	□斜樋、 取水塔、 取水トンネル、 底樋、 その他( )					
		<i>II</i>	の位	置/ヶ所	□現況位置、 位置変更 /					
		"	規模	(口径×孔数)	孔径×孔数: □ mm×□孔, □ mm×□孔, □ mm×□孔					
		底樋の	断面及	び構造	開削(水理断面:, 構造:)					
		構造設	≐∔±ऽ <del>=</del> †	取水部	□ U型フリューム , その他 ( )					
		<b>伸</b> 但取	百1ガシエい	底樋工	□ RC 巻立て ( ) , 柔構造型式 , その他 ( )					
	点	展樋工σ	)基礎地	也盤は良好か	地盤の種類:					
		"	1		透水度:k= x10 cm/sec					
			柔構造別 管種は	形式の場合の	ダクタイル鋳鉄管( )型 その他 ( )					
		樋	シクリートを	巻立ての場合 造図を使用か	Yes ( の場合の構造: )					
		の		巻立ての構造	有 □ 無					
構造一	般	造	従断継る	ぎ手の有無	有 (径間数 2 所 ,最大径間長 m ) 無					
		4	従断方[	句の構造計算 の有無	有 (縦断鉄筋の径×間隔:D×間隔@ mm ) 無					
	П	上水壁♂	構造に	は適正か	コンクリート, 土質材料( ), その他					
	П	比水壁σ	位置に	は適正か	遮水性ゾーン内, 遮水性ゾーン外(置換え), その他					
				設置の有無	有 無 既施設の流用					
	翼	急放流	施設	放流能力	必要放流量 m³/s					
				施設規模	孔径×孔数 :					
	そ 無		設計の	特殊条件の有	有 □無					

内容	<b>食 討 項 目</b>	内容	出典根拠	報告書記載項	備考	照査
構造計算語 元	頂版の土被り	M				
76	基面からの外水深	M				
	内水圧	m				
	特殊荷重の有無	有 □ 無 (有りの場合:)				

設計内容(要点)記載表 2.4(取水施設設計 2/2)

部材応力				流	<u> </u>		寸けボックス		樋	管			
主配筋計画		ı		側壁	底版	頂版	側壁	底版	横断筋	縦断筋			
土能助計画	部	曲げモーメン	⊦ kN-m										
	材応	軸力	kΝ										
	力	せん断力	kΝ										
	鉄筋た	いぶり	mm										
	有効部	祁材厚	mm										
		失筋量(近	似式算定)										
	配筋	主筋	D 間隔	D @	D @	D @	D @	D @	D @	D @			
	計画	配力筋	D 間隔	D @	D @	D @	D @	D @	D @	D @			
	応	コンクリート曲								, and the second			
	7777	鉄筋引張											
	查	せん断応	カ N/mm2										

#### 設計内容(要点)記載表 2.5(設計図作成)

検	討 項 目		内容	/## <del>-1</del> ×	照査
内 容	詳細	報告書	設計図	備考	無且
	規格は特別仕様書と整合して いるか。	□ Yes No	□ Yes No		
	計画一般図に必要な項目が記載されているか。(水位、地質条件等)		□ Yes No		
	使用材料は計算書と一致して いるか。	□ Yes No	□ Yes No		
設計図作成	構造詳細図は適用基準及び打 合せ事項と整合しているか。	□ Yes No	□ Yes No		
(各図面毎)	計算結果に基づいた適切な配 筋がされているか。	□ Yes No	□ Yes No		
	水位、設計条件が図面に明示されているか。	⊔ res ino	□ Yes No		
	図面が明瞭に描かれているか。(構造と寸法線の使い分け等)		□ Yes No		
	分かり易い注意が記載されて いるか。	□ Yes No	□ Yes No		

#### 設計内容(要点)記載表 3.1(仮設計画・数量計算・施工計画)

検 討 項 目		内容			報書載	,,,,	-	照	
内 容	詳細	標準値等	採用値	採用理由	出典根拠	ペ <i>ー</i> ジ	備	考	查
仮設計画	工事用道路 路線の位置は適正か。 工事用道路の幅員	□ 適正	不適						
	工事用道路の舗装								
	工事用仮橋の荷重								
	仮排水計画								
	仮設区分(任意・指定)は適正 か。	□ 適正	不適						
	数量計算の適用基準。 (有効数値、位取り、単位、区分等)	□ 適正	不適						
	数量計算と図面の整合性。	□ 適正	 不適						
数量計算	算定根拠・算式は解り易いか。	□適正	不適						
(各工種毎)	とりまとめは工種毎、材料毎	□ 適正	不適						
	土工計算 施工区分毎の土工図	□ 適正	不適						
	土工数量	□ 適正	不適						
	施工方法	□ 適正	不適						<u> </u>
施工計画	工程計画	□ 適正	不適						<u> </u>
	工事中の排水・湧水処理	□適正	不適						<u>                                     </u>
	経済性、安全性	□適正	不適						<b> </b>
	工事中の環境対策 (騒音、振動、汚染対策等)	□ 適正	不適						
	環境との調和、景観への配慮	□適正	不適						

#### 設計内容(要点)記載表 3.2 (特別仕様書・概算工事費・報告書)

検 討 項 目		内容			報告書献	,44		照			
内	容	詳	細	標準値等	採用値	採用理由	出典根拠	ペ <i>ー</i> ジ	備	考	查
特別		制約条件等,該 事項を記載して		□適正	不適						
仕様書 	書	各材料の規格・	品質は適正か。	□ 適正	不適						
		工事数量表は適	-	□ 適正	不適						
概算工事費		適用基準区分( 算方法等)	歩掛・単価積	□適正	不適						
	事費	計算内容		□ 適正	不適						
		工事明細書		□ 適正	不適						
		参考見積徴収		有	□ 無						
報告書		指定条件及び打 整合性(製本内 図面整理等)	容 , まとめ方 ,	□ 適正	不適						
		報告書の構成は 告書標準様式( ているか。	-	□適正	不適						
	書	計算式,数値及 典及び根拠	び文献等の出	□ 適正	不適						
		計算過程が理解 になっているか		□ 適正	不適						
		打合せ協議録・ 書類処理(合冊 正か。		□ 適正	不適						
コス縮減が	はまし	施設の提案内容 の過程や結果等 されているか。		□ 適正	不適						